

■システム情報学科 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学のシステム情報学科に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- グループで議論や活動ができる人
- ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人
- 人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人
- 宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人
- 情報技術を活用して社会の各分野で貢献できる人
- 情報や数学において教員として従事できる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人
- 情報技術を活用し、専門知識（システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識）を生かして、課題を発見し解決できる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

コンピュータシステムは、あらゆる産業界で使用されます。卒業後にどのような分野で活躍するにしても、コミュニケーション力、語学力(国語、英語)と「論理的思考力」(数学、英語)が必要とされます。「国語」の「文章表現力」や「口頭表現力」は、コミュニケーションの基本であり大学の講義をはじめ社会に出ても必要な力です。「数学」は、物事を論理的に考える訓練ができる科目で、この科目で身に付く「論理的思考力」は、情報処理技術者ではとくに重要ですが、他の職種でも大事な能力です。「英語」の基礎学力は、最先端のICT技術をいち早く知る上で重要です。また、「英語」を読むには、文法を踏まえて理解する必要があります。「数学」と同様に「論理的思考力」を養うことができます。また、様々な科目で文章を理解し問題を解くことは、「理解力」を養う上で重要です。

様々なことをそのまま鵜呑みにするのではなく、疑問を抱き納得できるまで自分で調べる態度を忘れずに、勉強に取り組んでください。その態度が、システム情報学科での修学を乗り越え多いものにするはずですよ。